

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

3月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

くまもとオレンジナース養成研修を受けて

昨年、くまもとオレンジナース養成研修を受講し、オレンジナースに認定されました。オレンジナースの役割は、研修で学んだ知識を院内研修を通じて共有することで、認知症の患者さまと関わる全ての医療従事者が認知症の病態や対応について正しく理解し、認知症の患者さまが元の生活に早期に戻れるよう図ることです。認知症への対応で大切なことは、相手に興味を持ち、どのように対応するかを考えることだと考えています。私自身も今回の研修を通じて、患者さまとしっかり向き合うことの重要性を改めて認識しました。

現在の日本は、高齢化率の上昇に伴い、認知症患者数の増加が見込まれています。団塊の世代が全員75歳以上となる2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると予想されており、山鹿市でも2025年には高齢化率が39.2%へ上昇すると予測されています。そのような中で私たち医療従事者は、認知症の方が社会の中で共存しながら暮らしていけるようなパイプ役を担っていかなければなりません。

当センターでも入院患者さまの高齢化に伴い、認知症の患者さまが増加しています。入院中に治療のためベッド上での生活が続き、疾患は治っても入院前と比べてADLが低下したり、緊急入院などで急に環境が変化した事で認知症が進行する事もあり、元の生活に戻る事が困難なケースもあります。入院中に患者さまの変化に気づき、早期に対応していくことが重要になります。認知症の患者さまとのやりとりにおいて一度

では伝わらない事も多くありますが、コミュニケーションを試行錯誤することは患者さまが何をしたいのか、思いを理解することにつながります。「どうせれるから」などではなく、患者さまの気持ちを知ろうとする事が大切です。イライラした気持ちが認知症の患者さまに伝わり、気持ちを汲ませてしまう事があります。認知症の人には意思も経験もあるのです。

＜認知症ケアの基本＞

- ①その人らしく存在していただけることを支援
- ②できることに目を向けて、本人が有する力を最大限に活かせるよう自己決定を尊重
- ③生活歴を知り、生活の継続性を保つケア環境
- ④感情・情緒に配慮した、心地よいケアやコミュニケーション
- ⑤家族やケアスタッフの心身状態にも配慮
- ⑥退院・社会復帰を早期より視野に入れたケア
- ⑦最期の時までを視野においたケア

基本的なケアを心掛けていくことで、日常的に認知症の人との対応ができるようになると思います。

養成研修を受けて、認知症の方がどのような思いを持っているのか、意思を尊重する事の大切さなどを考える良い機会になりました。今後は、できる限り認知症の方が住み慣れた環境で暮らしていけるような関わりができるよう支援していきたいと思っています。

(文責：副看護師長 川原 奈美)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

くまもとオレンジナース養成研修を受けて… P 1
 退職挨拶…………… P 2
 緩和ケアチーム紹介…………… P 3
 外来担当医表 (3月) …………… P 4

退職挨拶

山鹿 14 年の歩み

病院事業管理者 豊永 政和

本年3月末にて、山鹿市病院事業管理者の職を退任すると共に病院退職の運びとなりました。

平成20年4月、当時の「山鹿市立病院」病院長の本郷弘昭先生のお誘いで医療連携を目的に副院長として赴任しました。鹿本医師会会長であった故井上尊文先生にご協力いただき、紹介数、逆紹介数共に順調な増加を認め、約2年後には地域医療支援病院の指定を受けることができました。現在もこの指定が病院運用の柱となっています。そして、平成23年4月に「山鹿市民医療センター」としてグランドオープンしました。

平成26年4月より2期8年、病院事業管理者の職を務めました。最も重要な役目である医師の確保については、熊大病院より8名の全く新たな派遣医を確保できました。新規の消化器内科医3名の確保と整形外科医2名の増員が経営上も大きな要因となりました。心カテを想定した循環器内科医、待望の放射線科医、緩和ケアを担う外科医も病院運営上十分な働きをしてくれました。さらに、大学と無縁であった外科を熊大関連病院とするに当たり、就職医の退職に伴い4名の派遣医を頂き、正確には**8+4名**の派遣医の確保でした。一方、大学からの派遣医削減は産婦人科医の1名のみでした。派遣に快くご協力頂いた熊大病院各教室の皆様には心よりお礼申し上げます。お陰様で、病

院経営も繰越欠損金累計額を8年間で約**5分の1**に減らすことができました。平成21年から取り組んできた健診事業は、事業管理者との兼務で大変でしたが、スタッフも倍増するほど順調な経過でした。この開放型病院広報誌「つばさ」も、平成20年10月の創刊時より関わり、月刊誌としてほぼ毎月休まず発刊できたことをスタッフ共々誇りに思っています。

今からの病院運営は、引き続きCOVID-19の対応、行政や医師会との連携、2024年医師の働き方改革、2025年問題に伴う病床削減の検討、更に放射線科と産婦人科の常勤医が不在となるなど多難な状況の中での退職となってしまい、長年病院を支え、ともに歩んできた管理者として心残りのある想いです。

今後は、長年の健診業務の経験を活かして受検者の健康と生命に少しでも貢献できるよう頑張ります。在職中のご指導ご協力、誠にありがとうございました。今後とも、宜しく願い申し上げます。



原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

～緩和ケアチームの紹介～

WHOは「緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のQOL（生命の質）を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチである」と定義しています。

当センターでは2004年4月に緩和ケアチームが発足し、2012年4月に緩和ケア病棟が開設されました。当センターの緩和ケアチームは、緩和ケア担当医、緩和ケア病棟ナース、各病棟・外来リクナー、薬剤師、社会福祉士、管理栄養士、リハビリスタッフなど多職種で構成されています。2019年4月からは、毎週水曜日の緩和ケアチームカンファレンス及び回診時にケアビレッジ箱根崎から非常勤医師を迎え、さまざまな角度からがん患者とその家

族のサポートを行っています。今年度からは週1回のチームカンファレンスとは別に月1回のチーム会を開催し、昨年度作成したスクリーニングシートの活用を院内に浸透させ、早期から緩和ケアチームの介入が出来ることを目標に、チーム員で検討を重ねながら活動を進めていきます。

地域における緩和医療普及のため年2回開催してきた鹿本地域緩和ケア研究会は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により昨年度、今年度と開催できていませんが、次年度は新型コロナウイルス感染症の流行状況をみながら、開催ができるよう準備を行っていきます。これからはがん患者さまとその家族が持つあらゆる苦痛の緩和を図り、少しでもQOLの高い状態でその人らしい生活を過ごせるように支援していききたいと思います。

（文責：緩和ケア病棟看護師 大坪 美香）



外来担当医表

3月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※1 中嶋 直也 担当医 (予約のみ)	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 荒木崇士/中原達秀	工藤 智志 荒木 崇士 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 赤星 慎一 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 山村 謙介
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※非常勤医師	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン サ ー タ イ 器	耳鼻咽喉科	—	※非常勤医師	—	※非常勤医師
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
	※片渕美和子(午後) 3/8(火)、10(木)、15(火)、22(火)、24(木)、29(火)、31(木)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	消化器科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 上野 茂紀

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
 ※ 非常勤医師です。 ※1 第2、第4水曜日のみ診療となります。

特殊・専門外来

3月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	織田 枝里	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
外来化学療法(予約制)	担当医	毎週 火曜・水曜・金曜	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片渕美和子	2/8(火)、10(木)、15(火)、22(火)、24(木)、29(火)、31(木)	
PEG外来	担当医	毎週 第2・4水曜 (午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日 (13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
 ◎急患の場合は、この限りではありません。
 ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

 **山鹿市民医療センター**
 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>